

幕末に 世界一周 やってみた

2

安政七年二月十四日（一八六〇年三月五日）
遣米使節団に随い方として随行した
俳人・加藤素毛が乗り込んだのは
アメリカの軍艦ボーハタン号
太平洋上で嵐に遭遇し
船の修理と燃料補給のために
急遽ハワイ諸島のホノルル港に
立ち寄ることになった

おお！
島じゃ
島じゃ！

左の方に見えてきたのが
サントウイツの山地だ
雲みたいに見えるだろう？

サントウイツ（サントウイツ島は
当時のハワイの呼び名で
キャプテン・クックに名付けられた

構成 川合登志和
漫画 秋桜

ここで一句……
山よりも匂ふ旭日の出しほかな

オアフ島の北に
高い山があつてな
かつて中国人たちは
この山中より白檀を
伐採しておったそうじゃ

オアフ
モルカイ
モーイ
ハワイ
ホリル

ハワイは大小十一の島からなる諸島で
一番大きな島から「ハワイ」
「モーイ（マウイ）」「オアフ」と言つて
わしらはオアフ島のホノルルという
港から上陸したんじや
初めての外国楽しみじやのう！

お主らハワイは知っておるか？
気温は江戸の四月下旬くらいの
暖かさでそれが一年中続くんだと







次回のお話は…



素毛に俳句を詠ませた人物は
遣米使節団の随員として乗船した
勘定方組頭の森岡太郎清行
本来なら身分の違いにより私的な会話を
することはありえないのですが
イヤイヤ乗船した役人とは違い
素毛と同じく外国を楽しみにしていた
数少ない役人でした



サンフランシスコでは
同じ船の乗組員、イケメン青年が
アメリカのご婦人にモッテモテ♡



サンフランシスコに
行きたいから！

いよいよアメリカ本土に上陸した！
使節団一行はサンフランシスコへ



そこで素毛は最高の優越感に
浸ることに!?



そして威臨丸の乗組員と再会！

話しかけられたときは
えらい驚いたわ
ちなみに前回
たくあんが臭うと
アメリカ人が騒いだ際
にわしに捨てろと指示
したのもこの人じゃ

